

「場 (BA)」を活用した定常的な新規事業創出 厳しい競争環境を生き残るために

今の事業はいつまで収益をあげることができるのか？

事業ライフサイクルは短くなっている

- 経済のグローバル化による企業間競争の激化、技術革新のスピードの向上により、企業活動におけるイノベーションのスピードは早くなっています。
- その結果、これまで十分な収益を上げていたビジネスモデルが途端に陳腐化し収益が出なくなってしまうケースや、新しい事業だとしても極端に短い事業ライフサイクルによりすぐに非収益化してしまうケースが出てきています。

継続的に新規事業を生み出すためには、何が必要なのか？

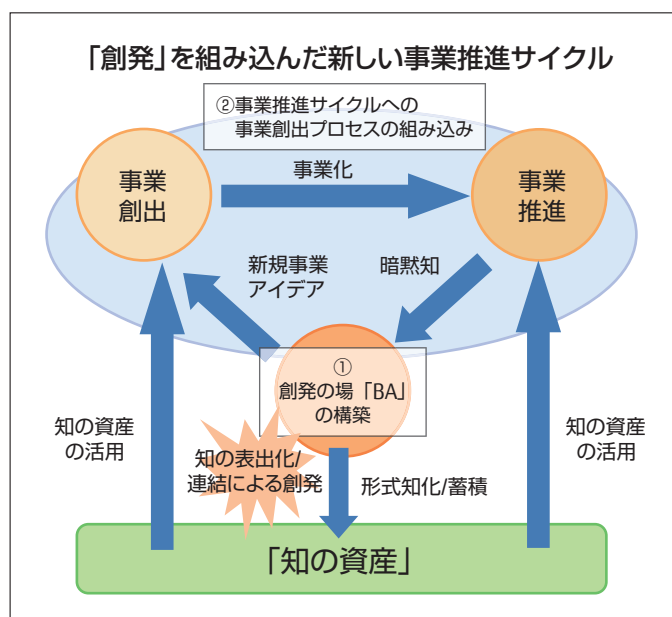
新規事業創出を「業務化」する

- 従来は事業創造の機会が数年、もしくは数十年に1度行われる「イベント」でした。そのため、新規事業を検討する仕組みは「一時的な」組織で対応するケースが多く見られます。
- 事業ライフサイクルが短縮化している昨今、新規事業創出を「定常的な」活動の1つにする必要があります。そのため、新規事業を創出することを「業務化」し、通常業務に組み込む必要があります。

「創発」を事業推進サイクルに組み込む

「場 (BA)」を活用した継続的な新規事業創出の仕組みの構築

- 従来、新規事業創出は、事業推進サイクルとは別の活動として位置づけられていました。
- 新規事業創出を定常的な業務の1つにし、継続的に実施していくためには、①創発の場「BA」の構築、②事業推進サイクルへの事業創出プロセスの組み込み、の2点を行う必要があります。



富士通総研の「場 (BA)」を活用した新規事業創出へのアプローチ

1. 「現場の知見」を集約し、新規事業を創出できる環境を整える

- 多くの新しいビジネスは、日々顧客/技術に接している現場から生まれます。そのため、新規事業創出を行うには、その検討準備として現場の知見を集約する必要があります。
- 私たちは4つのアプローチで新規事業創出ができる環境を整えます。
 - ① 現場の方を中心とした新規事業を検討できる「場」の立ち上げ
 - ② その「場」で生まれた成果の整理・再構成による現場知見の集約
 - ③ 「場」/現場知見集約を継続的に実施する仕組みの構築
 - ④ 「場」/現場知見集約の継続実施支援

2. 複数の「創発の場」をネットワーク化することで、社内に創発の文化をつくる

- ひとつの成功した事業の後には、多くの上手くいかなかったアイデアがあります。そのため成功する新規事業を生み出すためには、多くのアイデアを生み出すことが必要になります。
- 私たちは5つのアプローチで社内に創発文化をつくりまします。
 - ① 企業内に存在する公式/非公式を問わない既存の様々な「場」を調査・分析
 - ② 企業内の様々な「場」をつなげる「場」の立ち上げ
 - ③ 企業内にある「場」をメンテナンスする仕組みの構築
 - ④ 「場」のメンテナンス実施支援
 - ⑤ 企業内に創発活動を広める活動計画作成/実施支援

3. 自前で継続的に実施できる人材の育成、組織の構築を行う

- 事業ライフサイクルが短くなる事業環境では、新規事業創出のプロセスは企業内に通常業務として実施される必要があります。
- 私たちは、3つのアプローチで、自前で継続的に実施できる人材の育成/組織構築を行います。
 - ① 「プロセス・コンサルティング」でプロジェクトを推進によるコアメンバーの育成
 - ② 新規事業創出を業務にする予算スキーム/ビジネスプロセス設計・構築支援
 - ③ 新規事業創出を担う人材育成プログラム企画/提供

主なコンサルティングメニュー

- 貴社の状況/課題に合わせ、様々な「創発の場づくり」のお手伝いをさせていただきます。

1. 創発の場「BA」の構築

提供メニュー	実施内容
1. ワールドカフェアプローチによる問題認識共有の場の企画/提供	<ul style="list-style-type: none"> ● 企業内の様々な関連部署間の問題認識を共有するワークショップ。 ● ワールドカフェの手法を活用し、関係部署間の対話を実現させる。
2. 未来洞察ワークショップ手法による、現場の知見を元にした未来予見の作成	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業を行っている業界/その顧客の「5年後」を考えるワークショップ。 ● 富士通総研で開発した未来洞察手法を活用して未来予見を作成する。
3. 新規事業のビジネスモデル検討支援	<ul style="list-style-type: none"> ● 自ら作成した「未来予見」に基づき、新規事業を考えるワークショップ。 ● 戦略モデルを活用し、新規事業案の抽出/概要設計を行う。
4. 新規事業創出を文化として定着させる、ワーキンググループ/人材育成設計	<ul style="list-style-type: none"> ● 企業内に部門横断的に新規事業を検討できる「場」の企画・構築。 ● 「場」を構築と人材育成を実施することで、「創発」を企業文化にする。

2. 事業推進サイクルへの事業創出プロセスの組み込み

提供メニュー	実施内容
1. 新規事業創出を業務にする予算スキーム/ビジネスプロセス設計・構築支援	<ul style="list-style-type: none"> ● 新規事業創出を業務にするためのプロセス設計・構築支援。 ● 新規事業立ち上げに必要な予算/意思決定プロセスを構築する。

2011.4

お問い合わせ先

株式会社 富士通総研

第1コンサルティング本部 産業事業部

〒105-0022 東京都港区海岸1-16-1ニューピア竹芝サウスタワー TEL:03-5401-8397

<http://jp.fujitsu.com/group/fri/>